※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合 新訂版(実教出版)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校までの歴史学習の成果を活かしつつ，社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

２　学習の到達目標

a:知識・技能

広い視野から，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

b:思考・判断・表現

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，多面的・多角的に考察，構想し、効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。

c:主体的に学習に取り組む態度

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究 、解決しようとすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	･私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ･資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし，必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	近代化と私たち	1、江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2、江戸時代の生産・流通と諸改革 3、幕政の改革と東アジア世界	a. 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する基本的な知識を複数の資料を活用し理解できている。 b. 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、一つの根拠を基に判断・表現できている。 c. 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	定期考査	定期考査 ノート提出	振り返りシート
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	第1章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4、イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5、フランス革命とウィーン体制 6、アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7、オスマン帝国の衰退とロシア 8、アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9、江戸幕府の滅亡	a. イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する基本的な知識を、複数の資料を活用し理解できている。 b. イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、一つの根拠を基に判断・表現できている。	定期考査 ノート提出	ノート提出	

※令和４年度以降入学生用

二学期	欧米諸国と日本の国民国家形成	第2章　欧米諸国と日本の国民国家形成 10、イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11. 明治政府の諸改革 12、日本のアジア外交と国境問題 13、自由民権運動と大日本帝国憲法	a. 欧米諸国と日本の国民国家形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する基本的な知識を、複数の資料を活用し理解できている。 b. 欧米諸国と日本の国民国家形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する問いに対して歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、一つの根拠を基に判断・表現できている。 c. 欧米諸国と日本の国民国家形成、日本のアジア外交や自由民権運動に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	定期考査	ノート提出	振り返りシート
	帝国主義の時代	第3章　帝国主義の時代 14、帝国主義の時代へ 15、朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16、日清戦争後の東アジア 17、日露戦争と東アジアの変動 18、日本の産業革命	a. 帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割、日本の産業革命と東アジア侵出がもたらした国際関係の変化に関する基本的な知識を、複数の資料を活用し理解できている。 c. 帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割、日本の産業革命と東アジア侵出がもたらした国際関係の変化に関する問いにお対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	定期考査		振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第2編　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第4章　第一次世界大戦と大衆社会 19、第一次世界大戦 20、ロシア革命とソ連の成立 21、米騒動とデモクラシー 22、ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23、アジアの民族運動 24、第一次世界大戦後の欧米諸国 25、ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a. 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する基本的な知識を、複数の資料を活用し理解できている。 b. 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、一つの根拠を基に判断・表現できている。	定期考査	ノート提出	
	経済危機と第二次世界大戦	第5章　経済危機と第二次世界大戦 26、世界恐慌と各国の対応 27、ファシズムの時代 28、満州事変と軍部の台頭 29、日中戦争と戦時体制	a. アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する基本的な知識を、複数の資料を活用し理解できている。 b. アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、一つの根拠を基に判断・表現できている。 c. アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファシズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。	定期考査	ノート提出	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度